新規事業採択時評価結果（令和7年度新規事業化箇所）

担　当　課：　道路局 国道・技術課
担当課長名：　西川 昌宏

事業の概要

事業名	一般国道112号 山形南道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：山形県山形市蔵王松ヶ丘 至：山形県山形市西崎			延長	9．0km

事業概要

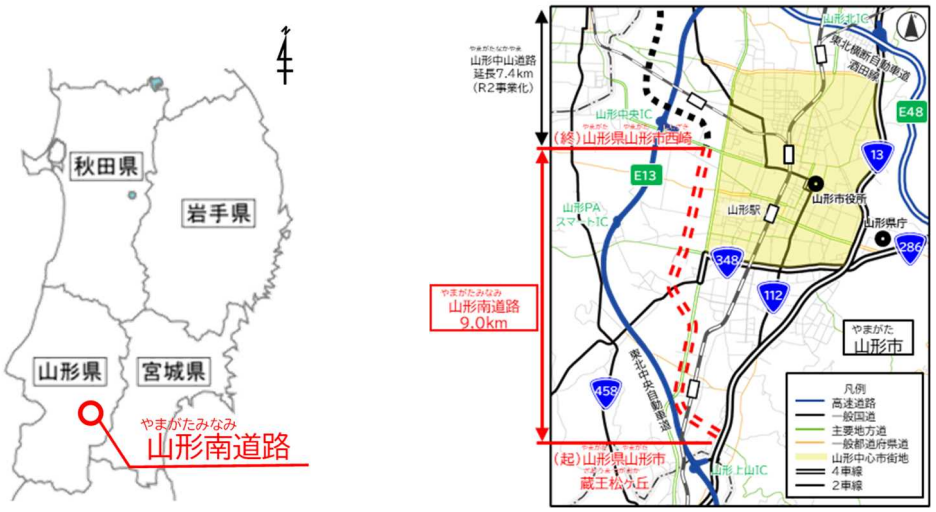
一般国道112号は、山形県山形市から山形県酒田市に至る延長約166kmの主要幹線道路である。
このうち山形南道路は、交通混雑の緩和や救急医療活動の支援等を目的とした延長9．0kmの道路事業である。

事業の目的、必要性

当該道路の整備により、利用交通の分担が図られ、幹線道路ネットワークの機能を確保するとともに、交通渋滞を緩和し、交通の安全性向上や安定した救急医療活動と円滑な物流活動の支援を目的とする。

全体事業費	約740億円	計画交通量	約30，700台／日

事業概要図



関係する地方公共団体等の意見

【山形県知事】
予算化することについて、同意します。
山形市周辺の一般国道 112 号は、山形市と共に生活圏を形成する近隣の寒河江市、山辺町、中山町を結び、通勤・通学・買い物等の日常生活を支えるとともに、圏域内の経済活動においても重要な役割を担う道路であります。
山形市内の国道 112 号をはじめとする主要幹線道路は、信号交差点が連続し、主要渋滞箇所が複数存在しており、通過交通と発着交通の混在による速度低下に加え、渋滞に起因する交通事故が発生しやすい状況にあり、幹線道路の機能確保が課題となっております。
このため、必要な交通容量の確保や交通の分担による交通渋滞の緩和や、安全な交通環境の確保、円滑な物流ルートの確保や安定した救急搬送ルートの確保が急務であることから、「山形南道路」の令和7年度の予算化が望まれるところです。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

対応方針（採択理由）

費用便益比が1．6と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通の速達性及び安全性の向上、地域の救急医療活動や物流の支援など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果（総合評価）

事業採択の前提条件

■便益が費用を上回っている

■事業実施環境が整っている

費用便益分析		B/C	（参考）	EIRR	総費用	総便益		感度分析		基準年
	〔4%〕	1.6	2.1	6.6%	523億円	852億円	（参考）	交通量変動	B/C＝ 1.4～1.8 （変動ケース：±10%）	令和6年
（参考）	〔2%〕	2.5	3.2		事業費：474億円 維持管理費：49億円 更新費：－億円	走行時間短縮便益：788億円 走行経費減少便益：46億円 交通事故減少便益：17億円	時間信頼性向上便益：250億円 CO2排出削減便益：1.6億円	事業費変動	B/C＝ 1.5～1.8 （変動ケース：±10%）	
	〔1%〕	3.1	4.0					事業期間変動	B/C＝ 1.4～1.8 （変動ケース：±20%）	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。（〔 〕内は社会的割引率の値）

事業の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和 【国道112号の混雑度】 現況：1.12 ⇒ 整備後：0.92（約2割改善） 【評価対象範囲の旅行速度】 現況：24km/h ⇒ 整備後：30km/h（6km/h向上）
		事故対策	◎	・利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、交通の安全性が向上 【国道112号の死傷事故率】 現況：104件/億台キロ ⇒ 整備後：85件/億台キロ（約2割減少）
		歩行空間	ー	・注目すべき影響はない
	社会全体への影響	住民生活	◎	・利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、救急医療活動を支援 【時間短縮　山形市西消防署周辺～三次救急医療機関への搬送時間】 現況：16分 ⇒ 整備後：11分（5分短縮）
		地域経済	◎	・利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、物流活動を支援 【時間短縮　製菓工場～物流拠点への所要時間】 現況：26分 ⇒ 整備後：18分（8分短縮）
		災害	○	・堆雪幅を考慮した路肩幅員の確保により、緊急車両の通行を支援
		環境	○	・環境（CO2排出量）の改善（CO2排出削減便益：1.6億円）
		地域社会	○	・当該事業区間である山形市と周辺市町との連携を深め、生活・産業を支援

事業実施環境

・都市計画決定手続き完了（R7．1．24）

・山形市長、一般国道112号（山形市・寒河江市間）整備促進期成同盟会等により早期事業化を要望